

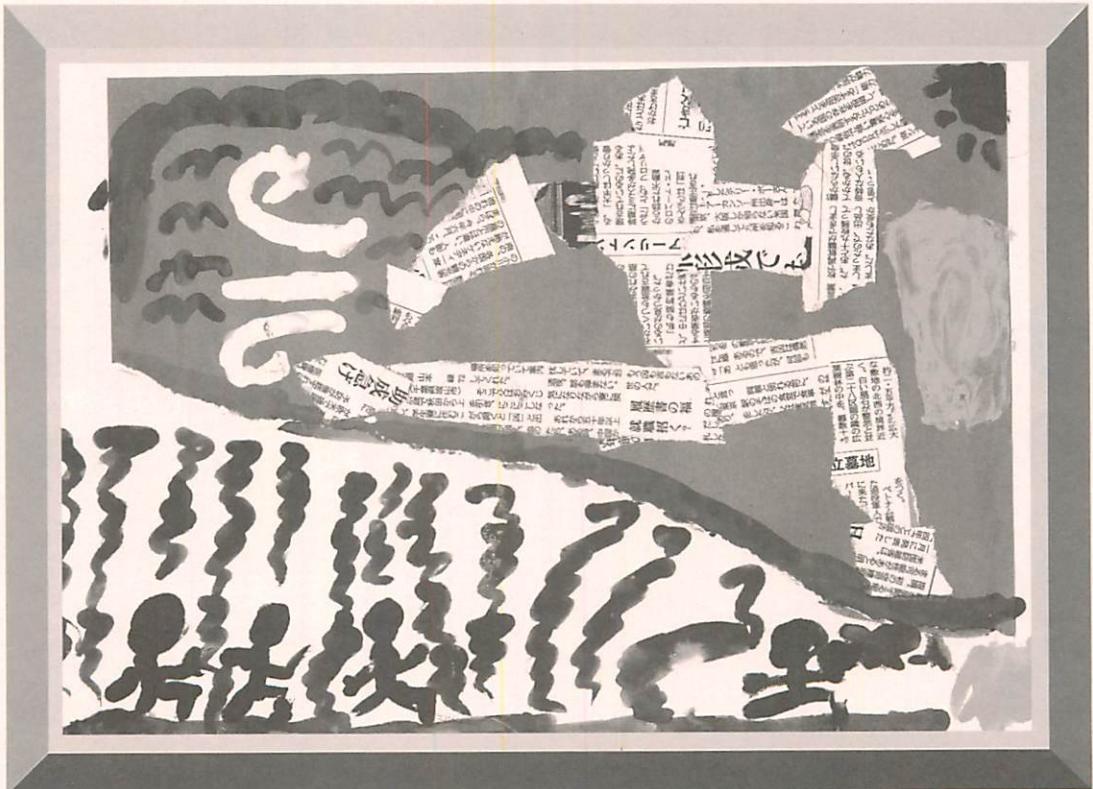


板橋区

小P連

第 42 号

平成23年3月31日



板橋区立小学校PTA連合会

も < じ

親の背中

小P連会長 小笠原隆浩 1

あたたかい人づくりナンバーワンにむけて…… 板橋区長 坂本 健 2

すべては子どもたちのために 愛を込めて…… 板橋区立小学校校長会会長 田中秋夫 2

『いたばし学び支援プラン』第2期計画を策定…… 板橋区教育委員会 3

平成二十二年度 PTA連合会活動報告 4

平成二十二年度 委員会報告 5

平成二十二年度 地区会報告 6

特集1 「PTA主催の行事・受け継がれる歌」 8

特集2 「板橋の自然とふれあえる名所」 10

小P連主催事業点描 臨時食品衛生講習会・広報誌コンクール・バレーボール大会 12

東京都板橋区立小学校PTA連合会会則・細則・内規 13

学校紹介 14

小P連OB会報告・板橋区立小学校PTA連合会OB会規約 15

東京都板橋区立小学校PTA連合会役員名簿 16

平成二十二年度 板橋区立小学校PTA連合会役員名簿 17

編集後記 18

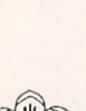
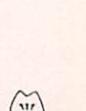
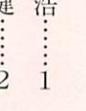
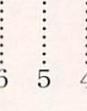
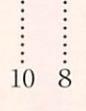
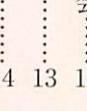
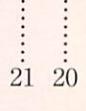
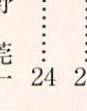
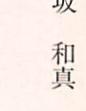
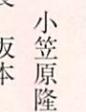
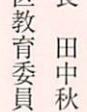
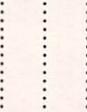
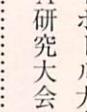
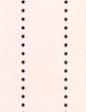
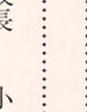
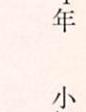
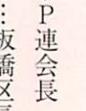
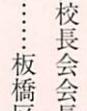
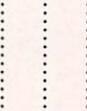
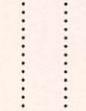
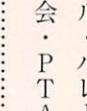
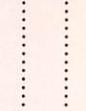
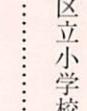
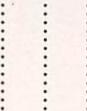
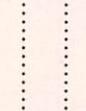
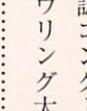
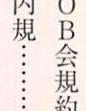
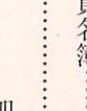
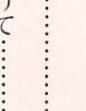
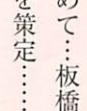
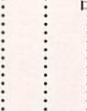
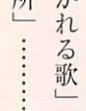
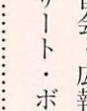
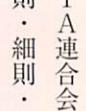
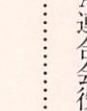
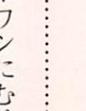
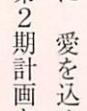
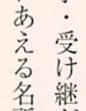
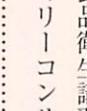
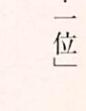
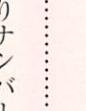
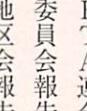
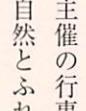
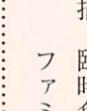
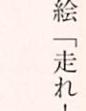
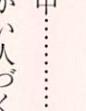
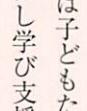
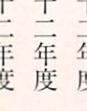
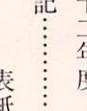
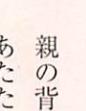
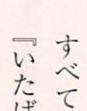
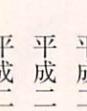
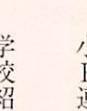
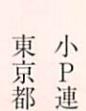
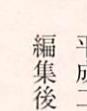
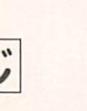
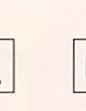
表紙題字「小P連」 19

表紙絵「走れ!一位」 20

加賀小学校校長 小野 莞一 21

加賀小学校4年 小坂 和真 22

24 23 21 20 14



親の背中

小笠原 隆浩 小笠原 隆浩



今年度、小P連は「保護者の学び」を方針としました。

小P連が「子供達のため」にあるのは言うまでもありませんが、活動を通して保護者が意識的に学び成長することが、ひいては実質的に子供達のためになると考えたからです。

「子は親の鏡」と言いますが、まさに子供は親のあるがままの姿を反映していると感じます。また、「いじめ」に代表されるような子供達の問題は、社会で行われていることの反映のように見受けられます。「勉強をしなさい」「挨拶をしなさい」「友達と仲良くしなさい」「人に優しくしなさい」「静かにしていなさい」等々、我々はつい理想を子供に押し付けがちです。しかし、大人がしていなきことを子供にさせようとしても、どこかに無理が生じて表面的な模倣以外、何も身に付かないでしょう。「親の背中を見て子は育つ」と言われるように、理想の背後で実際にしていることこそ大事なのでないかと思います。

前向きにPTA活動に関わると、知識や情報の吸収はもちろん、有形無形の様々なことを学ぶことが出来ます。人の話に耳を傾けること、的確に物事を伝達すること、協力し合うこと。このような基本的な事柄でさえ、あらためて意識して行わなければならぬ場面に多く遭遇し、鍛えられます。それこそお金で買えないものたくさん得られます。そしてこれらは、とても楽しいことです。我々は社会の構成員であると同時に社会の在り方も担っています。我々のレベルアップは家庭と社会に好影響を与えることになるでしょう。

こうした「保護者の学び」という理念を、具体的には、子供達の教育環境に関心を持ち、小P連各活動の意義を再認識し、その目的を最大限達成するために協力協調すること、を目標として実現しようと試みました。その経過と成果については今号の「委員会報告」で披露されていますので是非ご覧になつて頂きたいと思います。

委員会活動以外に特に印象的だったのは、10月に行われた衛生講習会でした。ノロウイルス及びインフルエンザ流行防止対策のために開催されたのですが、急な企画にも関わらず200名以上の保護者が集まり、会場内に特別な雰囲気が漂つくりに全員が凄い集中力をもつて講習を受けました。思ひぬ形で理想的な「保護者の学び」を実現する事が出来たのですが、これは講師をお願いした板橋区保健所生活衛生課・原安彦様の「的確な情報をお伝えたい」という意欲と、参加して下さった皆様の受け取ろうとする熱意が、素晴らしい形で結実したものでした。

このように、関わる人達の総合力で成果が現れることをあらためて感じさせられた講習会でしたが、どの活動においても、関わつて下さった皆様の誠意に敬服させられました。小P連役員をはじめ各校の会長、そして各校役員の皆様は誠実で活力があり、子供たちのことを真剣に考える方々ばかりでした。誰もが忙しく余裕のない中、時間を割き労力を注いで、活動を担つてくださいました。今年度の活動も、皆様のご尽力によつて素晴らしいものになりました。

また、板橋区教育委員会の皆様、板橋区立小学校校長会の皆様には、様々な場面で我々の活動にご理解とご協力を頂きました。小P連OB会の皆様には手厚いサポートをして頂きました。中P連会長会と中P連OB会の皆様にも大変お世話になりました。更に、都P連を構成する新宿区、中野区、練馬区の各連合会の皆様にも情報交換を通じて多くの示唆を頂きました。活動を通じてお世話になつた多くの皆々様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

そして新年度も、意欲を持った多くの会長が小P連を動かしてくれるこども思います。今までの伝統と実績を踏まえ、更なる飛躍を目指して、板橋を牽引してくれるものと期待しております。引き続き関係各位のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

まだまだ純粹で素直な小学生が、安全に安心して学び、個性を伸ばして成長すること。今までの伝統と実績を踏まえ、更なる飛躍を目指して、保護者がしなければならないこと、出来ることはたくさんあります。意識をむけ関心を持ち、同じ目的を持った者が力を合わせ、板橋の教育が真に実り多いものであるよう願つています。

「ひと・まち・みどり」を

「みらい」へつなぐ

板橋区長 坂本 健



すべては子どもたちのために
愛を込めて

板橋区立小学校校長会会長（成増ヶ丘小学校長）
田中 秋夫

板橋区立小学校PTA連合会の皆様には、平素より子どもたちのために学校行事や防犯パトロールなど様々な活動にご尽力いたたくとともに、PTA活動を通じて区政全般にわたり深いご理解とご協力を賜わり、深く感謝申し上げます。広報誌の発刊にあたり一言ご挨拶申し上げます。

昨年、板橋第七小学校が、校庭の窓辺にゴーヤーやヘチマを植え「緑のカーテン」として生育させたことについて、平成22年度「東京都青少年健全育成功労者等表彰」と、「日本善行会春季善行表彰」で表彰されました。いずれも身近な温暖化対策に取り組み地域社会の環境づくりに貢献したほか、区内のほかの学校や施設に緑のカーテンづくりを広げ地域の青少年の模範となつたとして表彰されたもので、板橋区の誇りとして大変嬉しく思っています。

さて、平成23年1月に、「いたばしNo.1実現プラン2015」を策定いたしました。

このプランでは、3つのナンバーワンを実現するために重点的に取り組む3つの戦略を定め、5年後の板橋区の姿を見据えたビジョンのもと区が進めていくべき施策の方

向性を示しています。

そのひとつが「ひと」と「ひと」をつなぐ重点戦略です。教育力の向上と学校・地域の連携強化や子育て世帯への支援充実などを通じてあなたかの気持ちで支えあうまちづくりを進めてまいります。

さらに、教育委員会では平成23年3月に、「いたばし学び支援プラン」第2期（平成23～25年度）計画を策定しました。このプランは、「いたばしNo.1実現プラン2015」と緊密に連動するもので、将来の板橋区を背負って立つ板橋の子どもたちのための様々な施策を計画的に進めていくためのものです。

平成23年度はファイードパック学習を拡充し、これまでの小学校5年生と中学校2年生に加えて、小学校6年生と中学校1年生も対象に調査を行います。さらに、教育支援センターの設置に向けた機能の検討を行つていくとともに、あいキッズ事業の全小学校への展開に取り組んでまいります。

PTAの皆様には今後とも家庭や地域での教育力向上のためにお力添えを賜わりますよう、よろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、板橋区立小学校PTA連合会の更なるご発展と会員の皆様の益々のご活躍を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

小P連との出会いは平成三年、私が中台小の教頭になった時でした。当時は志村地区十二校会の中で夜遅くまで熱く語り合う会長さんたちの仲間に入れていただき、PTAの使命とは何かについて教えていただきました。楽しいことばかりの時代であつたような気がします。

あれから二十年、時代の要請は大きくPTA活動の趣旨を変えました。それぞれの学校の応援団としての活動から、各学校のPTAが主体性をもつて活動し、成果を上げて来ているのです。その成果とは何か、それは「すべては子どもたちのためである」という認識の上に「愛を込めて」いるということです。

ある学校の夏祭りに参加したことです。焼きそばとかき氷が二十円で販売されていました。信じられない安さと会長に聴きましたところ、「儲けを考えなければできるんですよ」と子どもたちに買いやすい値段をつけた愛を感じました。各学校でそれぞれ工夫して特色ある活動を行つていていますが、私は、そこに愛があるかどうかを大事にしていただきたい、そう願うのです。

単Pを統合した小P連としての活動においても同じことが言えますが、たとえば親子ボウリング大会でも、時間はかかるよりも多くの子どもたちへ賞をあげたいという気持ちが伝わって愛を感じるのです。

私たち学校の教育活動も、PTA活動も「そこに愛があるか」で評価したいですね。

『いたばし学び支援プラン』第2期計画を策定

板橋区教育委員会では、新たな教育課題に的確に対応し、子どもたちがいきいきと学び豊かな将来を築くことができるよう、平成20年7月、これからの教育の中長期的な方向性を示す「板橋の教育ビジョン」を策定しました。

このビジョンでは、板橋区における子どもや家庭、学校、地域のあるべき姿を「いきいき子ども！あたたか家族！」はつらつ先生！地域が支える板橋の教育」というキヤッチフレーズで表すとともに、家庭・学校・地域・教育委員会がそれぞれの役割を見直し、連携・協働していく方向性を示しています。

そして、教職員・保護者・青少年健

全育成地区委員会をはじめとする地域の方々との懇談を通して、ビジョンの理念を実現する具体的な施策・事業をまとめたのが「いたばし学び支援プラン」です。

「いたばし学び支援プラン」は、第1期（平成21～22年度）を経て、このたび、第2期（平成23～25年度）計画を策定しました。このプランに沿って、将来の板橋区を背負つてたつ板橋のこどもたちのための様々な施策を展開、実施していきます。

ここでは「いたばし学び支援プラン」第2期計画における重点事業の主な変更点について説明します。

重点事業の主な変更点

(1) 体力づくりの推進
「体力」を「行動体力」と「防衛体力」の視点で捉え、学校・家庭・地域が連携して、健康づくり・体力づくりを推進します。
①体力向上検討委員会による体力向上策の作成、②研究奨励校の実施 等

(2) 個に応じた特別支援教育の充実

障がいのある児童・生徒の個々の状態を正確に把握し、教育の視点から適切に対応していくため、①「一層の充実」考え方方に立ち、特別支援教育の再構築、②特別支援学級の増設 等

(3) 確かな学力を定着させるフィードバック学習方式の整備・拡充

子どもたちが学びの中でつまずいたり、疑問に思つたりしたときに役立つように、確かな学力を定着させる「フィードバック学習方式」を整え、基礎学力の定着を図ります。

①対象学年の拡大、②フィードバック学習教材の「あいキッズ」での利用促進 等

(4) 魅力あふれる質の高い授業の実現

問題解決型の授業の展開など、新学習指導要領を踏まえた授業改善の研究に取り組むほか、オープンスペース方式・教科センター方式の導入を図り、新しい授業方法の確立を行います。

(5) 学校図書館の充実

学校図書館蔵書のデータベース化の完了を受け、週1日、1日6時間程度、図書室の有資格者を全校に配置するなど、学校図書館の運営を充実させます。

(6) 教育支援センターの整備・推進

平成26年に竣工する区役所南館の改築にあわせた教育支援センターの開設に向

『いたばし学び支援プラン』第2期計画における重点施策と重点事業 『8つの重点施策と26の重点事業』

重点施策 1 豊かな心と健やかな体の育成



- 環境学習の充実
- 体験活動の充実
- キャリア教育の充実
- 体力づくりの推進
- 個に応じた特別支援教育の充実

重点施策 5 家庭における生活習慣の形成支援



- 「小学生入学前に身につけたい10の生活習慣」試験版の作成
- 年齢別の親学講座の実施

重点施策 2 確かな学力の育成



- 確かな学力を定着させるフィードバック学習方式の整備・拡充
- 科学教育の充実
- 魅力あふれる質の高い授業の実現(新規)

重点施策 6 地域人材による学校・家庭支援の促進



- 板橋区版放課後支援事業「あいキッズ」の推進
- 学校支援地域本部事業の拡大

重点施策 3 読書活動の充実



- 学校図書館の充実
- 家庭での読書推進の意識啓発
- 地域における読書活動の推進

重点施策 7 安心・安全で魅力的な学校環境の整備



- 公立小中学校の適正規模・適正配置の推進
- 教育のICT化の推進(新規)
- 学校施設の耐震補強工事・大規模改修工事
- 学校整備計画の策定

重点施策 4 教員の指導力向上



- 教育支援センター整備・推進
- 課題別研修の充実
- 保幼小中連携教育の推進
- 板橋区版指導計画の策定

重点施策 8 教育委員会の改革



- 区民が身近に感じる教育委員会の実現(新規)
- PDC Aサイクルによる効率的な事務事業の実施
- 職員の意識改革の推進

が学校支援に参加しやすい環境を整えます。
①実施校の拡大、②地域コードイニシアチブの養成 等

(7) 保幼小中連携教育の推進
一貫した教育の視点から、保育園・幼稚園・小学校・中学校の連携教育を拡大・推進します。

(8) 「小学校入学前に身につけたい10の生活習慣」 拡充版の作成
小学校入学前に身につけたい10の生活習慣

が学校支援に参加しやすい環境を整えます。
①実施校の拡大、②地域コードイニシアチブの養成 等

(9) 学校支援地域本部事業の拡大
地域の特徴を活かし、地域ぐるみで学校運営を支援するしくみである「学校支援地域本部」事業を拡大し、地域の方々

するとともに、それらを踏まえた区民からの意見 提案を真摯に受け止める、開かれた教育委員会の実現を目指します。
①広報機能の充実 ②教育委員と保護者を含む区民との話し合いの場の拡充 等

平成二十一年度 PTA連合会活動報告

7月	6月	5月	4月
2日 都P連第1回全体会 子ども安心安全講習会	14日 監査会 19日 新旧役員会 26日 副会長研修会	6日 新旧役員会 13日 新旧役員会 17日 赤塚地区会長会 19日 教育予算説明会 22日 平成22年度小P連総会 新旧会長歓送迎会	14日 地域安全マップ作製研修 赤塚地区正副会長会 合同バトロール
30日 広報委員会①	30日 わんぱく相撲 28日 三役会	30日 第1回役員会 1日 上板橋地区会長会 3日 志村A地区会長会 4日 板橋A地区会長会 5日 板橋B地区会長会・歓送迎会 8日 志村B地区会長会 14日 第1回会長会・教育問題対策委員会①・厚生委員会①・平成22年度小P連総会 19日 健全育成・社明大会	9日 子ども安心安全講習会 板橋A地区歓送迎会 15日 ピーポー110番委員会② バレーボール大会キャプテン会議 厚生委員会③ 教育問題対策委員会③ 20日 バレーボール大会キャプテン会議 厚生委員会③ 教育問題対策委員会③ 21日 教育委員会傍聴 26日 教育委員会傍聴 28日 三役会
28日 教育問題対策委員会⑤	9月	8月	7月
17日 都P連第2回全体会・広報誌「 クール心算作品各地区送付	1日 第1回役員会 3日 上板橋地区会長会 4日 志村A地区会長会 5日 板橋A地区会長会 8日 志村B地区会長会 14日 第1回会長会・教育問題対策委員会①・厚生委員会①・ピート 19日 健全育成・社明大会	23日 厚生委員会④ 24日 三役会 25日 都P連総会 26日 教育問題対策委員会④ 27日 第2回役員会 31日 OBA会との情報交換会	19日 食品衛生講習会・第3回役員会 広報誌コンクール最終審査会 20日 ピーポー110番委員会③ 21日 バレーボール大会キャプテン会議 厚生委員会③ 22日 板橋A地区会長会 25日 赤塚地区会長会 26日 志村A地区会長会 27日 上板橋地区会長会 志村B地区会長会 28日 志村A地区会長会 29日 志村B地区会長会 30日 PTA研究会
12月	11月	10月	9月
28日 クール心算作品各地区送付	12月 都P連第2回全体会・赤塚地区会長会 教育問題対策委員会⑤	19日 成増小学校60周年記念式典 板橋B地区会長会 20日 板橋第五小学校80周年記念式典 21日 厚生委員会⑥ 22日 第4回役員会 26日 広報誌コンクール・单P役員懇親会 27日 上板橋第一小学校80周年記念式典 28日 志村B地区会長会 29日 志村B地区会長会 30日 厚生委員会⑦	19日 区議会本会議傍聴 文教児童委員会傍聴 5日 文教児童委員会⑤ 14日 三役会 15日 厚生委員会⑤ 19日 食品衛生講習会・第3回役員会 広報誌コンクール最終審査会 20日 ピーポー110番委員会③ 21日 バレーボール大会キャプテン会議 厚生委員会③ 22日 板橋A地区会長会 25日 赤塚地区会長会 26日 志村A地区会長会 27日 上板橋地区会長会 志村B地区会長会 28日 志村A地区会長会 29日 志村B地区会長会 30日 PTA研究会
12月 都P連第2回全体会・広報誌「 クール心算作品各地区送付	12月 都P連第2回全体会・赤塚地区会長会 教育問題対策委員会⑤	1月 教育問題対策委員会⑧ 4日 教育問題対策委員会⑦ 16日 広報委員会④ 18日 志村A地区会長会 19日 PTA研究会 23日 親子ボウリング大会・厚生委員会⑩ 24日 第5回役員会 26日 志村B地区会長会 27日 上板橋地区会長会 志村B地区会長会 28日 志村A地区会長会 29日 志村B地区会長会 30日 厚生委員会⑨	1月 教育問題対策委員会⑧ 4日 教育問題対策委員会⑦ 16日 広報委員会④ 18日 志村A地区会長会 19日 PTA研究会 23日 親子ボウリング大会・厚生委員会⑩ 24日 第5回役員会 26日 志村B地区会長会 27日 上板橋地区会長会 志村B地区会長会 28日 志村A地区会長会 29日 志村B地区会長会 30日 厚生委員会⑨
3月	2月	1月	12月
22日 厚生委員会⑩	2月 上板橋地区会長会 3日 板橋A地区会長会 4日 赤塚地区会長会 5日 板橋B地区会長会 7日 上板橋地区会長会 10日 第4回会長会 19日 都P連バレー・ボール大会 22日 厚生委員会⑫	2月 上板橋地区会長会 3日 板橋A地区会長会 4日 赤塚地区会長会 5日 板橋B地区会長会 7日 上板橋地区会長会 10日 第4回会長会 19日 都P連バレー・ボール大会 22日 厚生委員会⑫	3月 上板橋地区会長会 3日 バレーボール大会キャプテン会議 7日 校長会との情報交換会 12月 小P連バレー・ボール大会決勝
以上			

尚※印の活動は3月11日に発生しました
大震災により中止致しました。

以上

平成二十一年度 委員会報告

広報委員会

平澤 信彦

今年度の広報委員会は板橋A地区は区が担当しました。板橋A地区は六校から構成されており、各校から数名の精鋭が選出されました。六月には前年度の担当地区である高島第三小学校の方々より要点を的確にまとめた資料をもとに、非常に丁寧な引継ぎと心得を教えて頂き委員会の準備を始めることができました。

第一回目の委員会で各校の担当割り振りを行い、第二回の委員会では具体的な取材活動の段取りや編集作業の方法について話し合いました。第三回の委員会で各担当より集まつた原稿を確認し入稿の準備を整えました。その後、最終的な編集作業と校正を何度も行い一年を通し委員の皆様が尽力して出来上がった広報誌です。是非、多くの方に読んで頂き各校のPTA活動にお役立て頂ければ幸いです。

最後に、原稿執筆にご協力頂きました皆様方に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

教育問題対策委員会

後藤 和彦

本年度の教育問題対策委員会は会長や各単位PTAが知りたい事や役に立つ情報を提供しようと考え、活動を行いました。

主な活動として①教育委員会事務局との意見交換会、②校長会との意見交換会・勉強会、③区議会各派との意見交換や文教児童委員会・関連本会議の傍聴などを行いこれらを単位PTAにフィードバックすべく2月にはPTA研究大会を開催、更に参加された保護者から「小P連へ期待すること」と題しさまざまなご意見を伺うことができました。

また【新会長・新地区長の手引書が欲しい】との多くの要望に応え「会長ハンドブック」の編集も手がけることが出来ました。これら多くの活動実績が残せたことは本委員会を支え、ご協力くださいました全ての皆様のお力だと確信し、深く感謝致します。本当にありがとうございました。

厚生委員会

新田 英二

平成22年度厚生委員会は、ママさんバレーボール大会、親子ふれあいファミリー・コンサート、親子ふれあいボウリング大会の3行事を担当いたしました。バレーボール大会では、参加41校による熱戦が繰り広げられ予選を勝ち抜いた14校が平成22年12月12日、東板橋体育館で決勝大会を行い優勝金沢小学校、準優勝板橋第九小学校、三位桜川小学校と紅梅小学校が栄冠に輝きました。

親子ふれあいコンサートは、平成22年12月18日自衛隊練馬駐屯地体育館で開催し、1、199名の親子とご来賓、スタッフ総勢1、355名が自衛隊第一音楽隊の演奏に酔いしました。親子ふれあいボウリング大会は平成23年1月23日ハタボウルで行われ213組の親子が気持ち良い汗を流しました。

本年度、バレーボール大会の予選方法変更による決勝進出校増加、親子ふれあいファミリー・コンサートとボウリング大会では例年行っていた抽選による人員制限を撤廃しての全員招待等、試行錯誤を行い、単P会長様はじめ単P役員の皆様やPTA会員様のご理解とご協力を感謝いたします。最後に100レーンもの広大な会場を提供いただいたハタボウルは施設の老朽化で、閉鎖が決定され最後の開催となりました。ハタボウルの皆様とご協力いただいた皆様方には感謝の言葉しか見つかりません。この紙面をお借りしてお礼申し上げます。

ピーポー一〇番委員会

菊地 淳次

当委員会では「子どもの安全・安心」を第一のテーマに協議を進めています。

まず、例年通り活動する事が大切な「警視庁の3行事を担当いたしました。子ども「一〇番の家」事業です。皆様の御協力の基にブレーントの継続及び新規掲出依頼をしていただき、所轄警察署に名簿の届出をする事ができました。区内の街を歩く度に真新しいピボくんのブレートを目にする、平穡無事である事の防犯効果を感じさせて頂きます。

そして今年度は、会長の連絡網で稀に配信される「不審者情報メール」を委員で勉強させていただきました。「メールけいしちょう」との違いで、教育委員会指導室で正確な情報の把握から始まる繩送網を各担当者が教えていただきました。合わせて不可欠な「バトロール」に関しても有意義な意見交換をする事ができました。さらにこれから的情報化時代に即したソフトとして、各単Pで独自に採用している連絡網等の活用も提議されつあります。

委員会の活動の一環として参加した「都P連拡大会議」では、他に「地域安全マップ」「防犯森」「クリアファイル」等を他区の方に紹介させていただき、情報を交換する事により、同様の問題性の確認及び地域で異なる独自性の理解に大いに役立ちました。今後の発展性として、隣接する他区・他県との情報の共有が望まれる事であり、公的機関が成し得ない弊害を打破できるのは、私達のPTA活動ではないかと考えられました。

健やかな子ども達の小学生生活の為に、当委員会が少しでもお役になります事を願います。今年度の報告とさせていただきます。

平成二十一年度 地区会報

志村A地区

北前野小学校 財津 和宏

志村A地区は十一校で構成されています。今年度は新しい会長さんが二名、二年目の会長さんが三人という環境の中、全体的に落ち着いた雰囲気で活動を続けています。地区全体の活動として、一学期「歓送迎会」、二学期「情報交換会」、三学期「校長会長会」を各校持ち回りにて開催しています。毎年、幹事校が特徴を出しながら続けられており、年間の大きなイベントになっています。また、学校対抗ソフトボール大会の実施、各校の行事・イベントへの顔出しを通して横の連携や連帯感を高めています。高まりすぎて夜遅く、場合によっては早朝まで会合が盛り上がることも少なくありません。各会長自身の環境はみんな違うありますが、単Pの会長という共通の目線・意識（一国一城の主）を強く持つて、子供たちの成長する環境作りについて本音でいろんな議論をしています。地区の催事に集まることがオアシスになっている志村A地区です。

志村B地区

志村坂下小学校 川口 徹

志村B地区は、志村第五小、志村第六小、志村坂下小、蓮根小、蓮根二小、舟渡小、新河岸小、高島第三小、そして今年度から加盟していただいた高島第六小を含め、九校で構成されています。今年度は六名の新会長を迎えスタートし、私もその内の一人でありながら、地区長という大役を仰せつかりました。各会長に大きな心で手助けしていただき、慣れながらもなんとか進行出来ました事に深く感謝しております。その様な状況で、地区会の連絡伝達はもとより役員、校長、副校長もメンバーとなっている九校会や新旧正副会長歓送迎会、地区内の未加盟校も参加しての高志会などを開催し、近隣校との情報を共有しながらより友好を深めていくことが出来、良い経験が出来たと思います。

最後になりましたが、この一年間ご理解ご協力いただきました各校の校長、副校长先生方、活動に係わりました役員の皆様に心より感謝申し上げます。

江戸四宿の一つとして栄えた板橋宿。現在の本町・板橋・仲宿を取り囲むように、板一小・板二小・板四小・金沢小・加賀小がありまた房総半島の南西部、自然豊かな千葉県鴨川市に天津わかしお小があります。以上の六校から板橋A地区が構成され、小P連の中でも最もコンパクトな地区でもあります。

今年度は私を含め三人の新会長とベテラン会長三人で活動をスタートしました。七月に板二小主催で各校の校長先生や副校長先生、また単P役員の皆様にご出席いただき板橋A地区歓送迎会を盛大に行いました。また定例の地区会長会でも、子ども達が安全に且つ健全に育つて欲しいという共通の思いをもとに活発な意見交換を行っています。会長の職責とは何か？などを真剣に話し合うことで親睦が深まり信頼関係が築かれていきました。新任会長の地区長ではありましたが、心温まる励ましとナイスフォローに支えられ一年を勤めることが出来ました。

最後になりますが、各校の校長先生・副校长先生、並びに各校PTA会長及び役員の皆様方より多大なるご協力とご理解を賜り、心より感謝申し上げます。

板橋A地区

加賀小学校 平澤 信彦

板橋B地区

板橋第七小学校 佐藤 尚浩

上板橋地区

上板橋小学校 浅川 英治

赤塚地区

下赤塚小学校 秦 智彦

板橋B地区は、板五小・大井会長、板六小田中会長、板七小・佐藤、板八小・三角会長、板九小島田会長、板十小矢ヶ崎会長、大山小菊地会長、中根橋小・藤谷会長の八名で活動しております。

今年度は板橋第五小学校が創立八十周年、板橋第八小学校が創立七十周年という記念すべき節目の年を迎えました。

また、地区活動としては各校の役員、校長先生、副校长先生に参加して頂き、今年は一学期には歓送迎会、三学期には活動報告会を開催校が当番制で行い、趣向をこらして親睦交流を深め板橋B地区のPTA活動を盛り上げております。

最後になりましたが、各校の校長先生、副校长先生、単P役員の皆様方には多大なるご理解と御協力を頂きましたこと、心より御礼申し上げます。

これからも板橋B地区では、よりよいPTA活動の環境作りに励んでまいります。

板橋区の教育行政地域区分による上板橋地区は、上板橋小学校、上板橋第二小学校、桜川小学校、常盤台小学校、弥生小学校、大谷口小学校、上板橋第四小学校、向原小学校の8校によって編成されています。寺子屋から出発し区内3番目の古い歴史を持つ上板橋小学校からの分校、兄弟校等の派生によって現在の校数に達したと聞いています。

元来中小の工場や農地が多くたので、優しく暖かい地域の特色は今でも色濃く残っています。上板地区での活動もそうした雰囲気の中で和やかに運営されています。

今年度は年5回の八校会（地区会）による拡大し、特に新年度初めの新旧PTAによる拡大八校会では、各校の校長、副校长を含め例年60人以上の参加者がぎやかに親睦を深めました。PTAによる地域活動や情報交換についても、各校助け合いながら取り組んでいます。

す。

赤塚地区は、赤塚小、赤塚新町小、北野小、紅梅小、下赤塚小、徳丸小、成増小、成増ヶ丘小、三園小の9校で構成されています。

今年度は、定例の地区会長会の他に、退職、異動された校長先生、副校长先生方をお招きした、正副会長会を7月にホテルカデンツアにて実施いたしました。各校の役員の皆様との情報交換をし、イベントでは大変楽しく盛り上がり親睦を深める事ができました。

赤塚地区では周年行事として、成増小が創立60周年を迎えました。

私に地区長という大役が務まるか不安でしたが、各校の会長さん達にご指導を頂きながら進める事が出来、大変助かりました。自分自身とても勉強になつた1年でした。

最後になりましたが、各校の校長先生、副校长先生、単P正副会長、役員の皆様方に心よりお礼申し上げます。

PTA主催の行事・受け継がれる歌

志村第一小学校

志一音頭



ハアー ほぐたちの ああ私達の
志一小は よい学校 楽しい毎日よ

磨きゆく 未来に羽ばたく 希望を乗せて
(省略)

（作成された背景）平成5年に「学校をたたえ、親子や地域が共に楽しめる曲があつたら...」という要望が出され、模索して開催する学校もあり、各校の特色ある活動が伺えます。これらのイベントに欠かせないのが「寺子屋」や「おやじの会」などのボランティア団体です。模擬店を出店したり、イベント内容を決定したり、大活躍です。

金沢小学校 RAP OF KANAZAWA

KANAZAWA KANAZAWA

自然がいっぱい(KANAZAWA)

ねえ、みんな(YEAH!) 知ってるかい?(YEAH!)

ほぐらの学校自然がいっぱい

大きな木(YEAH!) 小さな木(YEAH!)

数えきれないくらいのたくさんの木 その中でも 大事な木

2本ずつある学年の木(YEAH!)

知ってるかい?(YEAH!) 知ってるかい?(YEAH!)

さあさみんなでおぼえよう(YEAH!)

(省略)

（作成された背景）学校の森を授業に

いかし、豊かな心を育てよう。草木を大切にする子は、きっと心優しくなるだろう。という先生方の思いから、平成7年に、その年の6年生が中心となつて作られた曲だそうです。80種類、2000本ある木の中から、2本ずつ学年の木を決め、早くみんながその木の名前を覚えられるよう、とこのように歌詞になつたのです。

（べき） どのような行事やシーンで歌われるのか 子ども祭り、また、1年生を迎える会



区内54校の小学校PTAを対象にアンケートを実施し、34校の回答(62%)をいただきました。ご協力ありがとうございました。

PTA主催の行事といいますと、夏休みのキャンプファイヤー

寺子屋事業を回答し、通年計画的に実施している学校が16校もありました。PTA有志がボランティア団体を結成して、PTA主催の行事といいますと、夏休みのキャンプファイヤー

A有志が講師としてスポーツや工作・料理教室などを行つてきました。



板橋区内の小学校で日々、子どもたちの為に行事やイベントを支えているPTAの皆さま、お疲れ様です！各学校でどんな行事やイベントがPTA等により毎年開催されているのかをご紹介します。加えて、いくつかの学校で、永く子どもたちによって大切に受け継がれてきたオリジナルソングもご紹介します。きっと、皆さまの心に響くものがあるはずです。

PTA主催の行事といいますと、夏休みのキャンプファイヤー

あり、これらの売上げは、周年記念事業準備金やPTA活動資金として使われているようです。

新河岸小・加賀小・志村五小・志村坂下小・常盤台小・向原小・金沢小は、地域の方々の協力をいただいてお祭りやまちつき大会を開催しています。

また、「読み聞かせの会」をPTA有志がボランティア団体を結成して、PTA主催の行事といいますと、夏休みのキャンプファイヤー



(省略)

い

PTA主催の行事・イベント

アンケート結果（複数回答）

模擬店 バザー 42校

夏休み子ども会やクリスマス会などで実施される。

もちつき大会 21校

読み聞かせ

16校

スポーツ大会 球技大会 10校

その他として、歓送迎会、給食試食会、校庭美化、学区内パトロール、地域懇談会などの回答がありました。

もちつき大会

21校

読み聞かせ

16校

スポーツ大会 球技大会 10校

その他として、歓送迎会、給食試食会、校庭美化、学区内パトロール、地域懇談会などの回答がありました。

もちつき大会

21校

読み聞かせ

16校

スポーツ大会 球技大会 10校

その他として、歓送迎会、給食試食会、校庭美化、学区内パトロール、地域懇談会などの回答がありました。

もちつき大会

21校

読み聞かせ

16校

スポーツ大会 球技大会 10校

その他として、歓送迎会、給食試食会、校庭美化、学区内パトロール、地域懇談会などの回答がありました。

もちつき大会

21校

読み聞かせ

16校

スポーツ大会 球技大会 10校

その他として、歓送迎会、給食試食会、校庭美化、学区内パトロール、地域懇談会などの回答がありました。

もちつき大会

21校

読み聞かせ

16校

スポーツ大会 球技大会 10校

その他として、歓送迎会、給食試食会、校庭美化、学区内パトロール、地域懇談会などの回答がありました。

もちつき大会

21校

読み聞かせ

16校

スポーツ大会 球技大会 10校

その他として、歓送迎会、給食試食会、校庭美化、学区内パトロール、地域懇談会などの回答がありました。



では4校の歌い継がれている曲の歌詞を紹介します。どれも愛校心あふれる歌ばかりです。

演後、子どもたち達成感で喜び合い、その一生懸命な姿を見てきた保護者も深い感動に包まれるそうです。これも素晴らしい伝統ですね。



板橋第一小学校 ずっとずっと前から

板橋第一小学校 ずっとずっと前から

（作成された背景）――○周年の記念歌として、作詞は当時の児童が担当し、作曲は当時の音楽の先生が担当しました。その後、第2校歌として児童に愛唱されています。

（どのような行事やシーンで歌われるのか）卒業式や、音楽会、開校記念集会（子どもまつり）



最後に、PTA主催の行事：イベントを続けていくには大変なこともたくさんあります。が、子どもたちのため、PTA同志のつながりのため、ひいては地域のために受け継がれていくことを心から願います。

上板橋第四小学校

みんなでヤツホー

あおぞらいっぱい広がって

ともだちたくさんうれしいな

月山のぼって ジャンケンポン

手と手をつないで オーフィック

ヤッホーやッホー このゆび止まれー

（省略）

（作成された背景）平成14年に70周年記念歌として、作曲は当時の音楽の先生（作詞は当時の在校生）により手がけられ、作り上げられた曲です。

（どのような行事やシーンで歌われるのか）音楽会や音楽朝会、1年生を迎える会、離任式などで歌われています。練習は各学年ごと、学級活動でしているようですが。



「ずっとずっと前から」板橋第一小

「自由な空へ」90周年記念曲 志村小

「志一音頭」志村第一小

「T 6 ピート」運動会曲 高島第六小

「心をつなぐ常盤台」50周年記念曲 常盤台小

「Rap of Kanazawa」金沢小

「みんなでヤツホー」上板橋第四小

（作成された背景）平成14年に70周年記念歌として、作曲は当時の音楽の先生（作詞は当時の在校生）により手がけられ、作り上げられた曲です。

（どのような行事やシーンで歌われるのか）音楽会や音楽朝会、1年生を迎える会、離任式などで歌われています。練習は各学年ごと、学級活動でしているようですが。

（作成された背景）平成14年に70周年記念歌として、作曲は当時の音楽の先生（作詞は当時の在校生）により手がけられ、作り上げられた曲です。

板橋の自然とふれあひの名所

私たちの住む板橋には、多数の名所・旧跡・自然と触れ合える公園や動物園、植物園があります。身近にあればすぐに行けると思い、なかなか足を運ぶのが面倒になることもあるのでないでしょうか。

今回、この特集を機会に、あらためて私たちの住む地域の名所や旧跡を振り返って、子どもたちと一緒に自然にふれあつてみませんか？

板橋区には、区制施行70周年を記念して、平成15年2月に区民からの応募を基に選定された、板橋ならではの自然景観、都市景観、名所・旧跡、イベントの「板橋十景」があります。

どれも「板橋らしさ」を感じさせる心に残る風景や、風物、感動ややすらぎを与えるものです。皆さんも「板橋十景」めぐりをしてみませんか。

板橋十景

- ⑩ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ① 赤塚溜池公園周辺
- 板橋（旧中仙道の仲宿付近の石神井川にかかる橋）
- いたばし花火大会（誰しも一度はみたのでは？）
- 志村一里塚（素通りしてしまいますが、少し足を止めてみてください。）
- 石神井川の桜並木（春の風物詩ですね。）
- 松月院
- 田遊び（徳丸・赤塚）
- 高島平団地とけやき並木（撮影場所としてもおすすめです。）
- 東京大仏（乗蓮寺）（はとバスも停まります。）
- 南蔵院のしだれ桜（中仙道沿いにあります。）

石神井川沿い桜並木



春の桜、夏の木陰、秋の紅葉、冬の枯れ木：季節で表情をかえる桜並木を子供と一緒に散策してみるのも良いですね。

中板橋付近から加賀付近まで千本を超えるソメイヨシノ・ヤマザクラ・サトザクラなどが花見の季節になると咲き誇り、多くの人の目を楽しませてくれます。対岸に届かんばかりの桜のトンネルの下を石神井川が流れるのを見ながら、遊歩道を上流に向かってゆっくり歩いてみるのがお勧めのコースです。



板橋と桜



石神井川沿い桜並木

身近な自然とふれあってみませんか？



東板橋公園 (こども動物園)



十分の距離にある中規模公園で、園内には自由に遊べる芝生広場や少年野球場、こども動物園などがあります。広場周辺には滑り台をはじめ木登りやストレッチができる遊具などもあり、幼児から大人まで幅広い年代の方が楽しめるようになっています。

園は高く生い茂る木々や竹林に囲まれ、夏には水遊び、冬にはピクニックスポットとして、一年を通して親子連れにも大変人気です。

併設のこども動物園にはヒツジ・ヤギ・ポニー・ウサギ・モルモット・シカ・フラミング・クジャクなどが飼育されていて、園内では放飼いにされたヤギやヒツジに触ったりエサをあげたりできます。

また、毎日十時半と一時半からはモルモットのだっこ体験やポニーの乗馬体験をすることができます。月一回行われているポニーの馬車は得に人気で、親子で馬車にのって自然あふれる公園内を廻ることができます。

休日には、お弁当を持ってお子様と一緒に自然と動物にふれあってみてはいかがでしょうか？

東板橋公園は区役所から徒歩



板橋七福神めぐり



西光院（さいこういん）

真言宗豊山派の寺で、法眼堂には「法眼桶見」の銘の金属片や小銭などが納められています。広い境内の中には四季を感じさせる美しい庭園や木々があり厳かな気持ちになります。



西光院

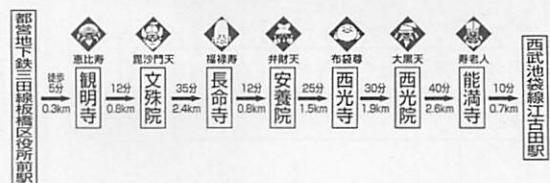
仁王様

西光院

紅葉

板橋七福神ルート例

所要時間 約3時間40分(見学を含む)



西武池袋線江古田駅

板橋七福神は昭和十二年頃に彫刻

師の田中金太郎さんによって製作されたものが七つの寺院に寄進されたものだと言われています。福の神はそれぞれ25cm程度の白木造りの素朴なもので、毎年一月初旬に各寺にて開帳されます。板橋地区にある三つの福の神をめぐつて、趣きのある寺と自然にふれあつてみてはいかがでしょうか。

成田山新勝寺の分身の不動明王が祀つてある真言宗の寺で、参道入口の庚申塔は区の文化財です。境内の福荷は加賀藩下屋敷より移設されたと言われています。商店街沿いにありながら朱塗りの山門をくぐると静けさと歴史を感じさせてくれます。



文殊院（もんじゅいん）

文殊院



觀明寺

江戸時代前期、延命地蔵を祀るお堂を寺院です。本尊の文殊菩薩坐像は寛文（1661～1673）の作と伝えられ、区の文化財に指定されています。きれいに整えられた境内はすがすがしい気持ちにさせてくれます。

觀明寺（かんみょううじ）
恵比寿

板橋区内の小学校で平成22年9月に行われたPTA行事において、ノロウイルスによる集団食中毒が起きたという残念な出来事がありました。これを受けて小P連では、板橋区保健所生活衛生課の協力を得て、臨時の食品衛生講習会を開催しました。

2学期には餅つきやお祭りなど多くの学校が食品を扱う行事を控えている事もあり、200名を超えるPTA関係者が出席しました。講習会では衛生課の職員の方からノロウイルスの特徴や感染経路、予防法などの説明があり、活発な質疑応答も行われました。また当該校のPTA関係者からは食中毒発生後の対応などのお話を伺い、参加者にとって大変貴重な情報を得る場となりました。

予防のポイント

- 十分な手洗い**
ノロウイルスにアルコールは効果ありません。液体セッケンを使用してしっかりと洗い流しましょう!
- 加熱後の食品を素手で触らない**
ていねいな手洗いをした後に、清潔な器具類や使い捨て手袋を利用しましょう!

臨時食品衛生講習会

平成22年10月19日(火) 於:グリーンホール

厳正な審査の結果、単位PTA広報誌コンクールの受賞校が決定し、表彰式が行われ、受賞校の広報誌担当の方に賞状が授与されました。広報誌担当の方からは完成までの苦労と感謝、そして受賞の喜びの声が聞かれました。表彰式後、引き続き単位PTA役員懇親会が行われ、和やかな雰囲気で他校との親睦を深め楽しいひとときを過ごしました。



会場で寄せられた義援金35,769円は、「あしなが育英会」へ寄付させて頂きました。

広報誌コンクール

平成22年11月26日(金) 於:グリーンホール

桜川小学校「さくらがわ」第155号
【校長会長賞】
板橋第一小学校「大いちょう」第139号
【会長賞】
舟渡小学校「ふなっこ」第167号
【特別賞】
志村第二小学校「いたしち」第142号
板橋第七小学校「いたしち」第161号
成増小学校「大地」第126号

第15回 小P連バレーボール大会

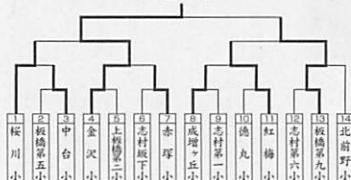
平成22年12月12日(日) 於:東板橋体育館

祝V3達成!



第15回 板橋区立小学校PTA連合会
バレーボール大会決勝トーナメント

優勝



これから、都大会、都PTA連バレー大会に出場予定です。金沢小のみなさん、がんばってください。

小P連および教育委員会主催「第15回バレー大会」の決勝トーナメントが行われ、予選を勝ち抜いた14校が、熱い戦いをくりひろげました。決勝戦は、昨年同様、金沢小と板橋第九小と行われ、金沢小が三年連続優勝を飾りました。



優勝校 金沢小メンバー

第12回 親子ふれあいデー ファミリーコンサート

平成22年12月18日(土) 於:自衛隊練馬駐屯地体育館



今年で12回目となる「親子ふれあいデー ファミリーコンサート」が、板橋区立小学校PTA連合会主催のもと、自衛隊練馬駐屯地の体育館で開催されました。普段、なかなか観る事のできない陸上自衛隊第一音楽隊が奏でる楽曲は「崖の上のボニヨ」や「勇気100%」「嵐メドレー」からクリスマスソングなどの洋楽まで、大人も子どもと一緒に楽しめる曲ばかりでした。

今年は1500名以上が集まり、大盛況のなか演奏者と来場者が一体となつて大変盛り上がり、本当に素晴しく貴重な時間を過ごす事ができました。

第7回 親子ふれあいボウリング大会

平成23年1月23日(日) 於:ハタボウリングセンター

個人、団体賞とも第一位から第三位の他とび賞(23位)の表彰がおこなわれ、子どもたちは、参加賞のお菓子を手に、嬉しそうに帰っていました。わきあいときをすとしまし

小P連OB会および板橋区ボウリング連盟のご協力の下、第7回親子ふれあいボウリング大会が開催されました。当日は213組約500名の方が参加しました。一投目は子ども、二投目で親がピンを倒してフォローするというルールのもと、親子でチームワークを発揮していました。

(そして校長会の先生方のうまいこと!)



個人1~3位 表彰式

PTA研究大会

平成23年2月19日(土) 於:グリーンホール

大山グリーンホールに於いて
「みんなで学ぼう板橋の教育」
をテーマにPTA研究大会が開催されました。教育委員会はじめ校長会の代表、保護者の方々などが参加し、板橋の教育について学びました。



はじめは、板橋区の小学校・小P連・教育委員会についてクイズ形式で楽しく学びました。プレゼンテーションでは小P連会長会から、「PTA、小P連、板橋区の教育について学んできた事」の発表がありました。区議会を傍聴したり、教育委員会校長会へ質問状を出したりともわかりやすくまとめてもらいました。ディスカッションでは十数名のグループに分かれて「小P連に期待する事や要望したい事」を話し合い、グループごとに発表を行いました。

保護者も教育について興味を持ち学んでいく事や、PTA活動に参加し何かを成し遂げる姿

を見せることが、子どもに良い影響を与えていくのだと感じられた。



板橋第一小学校



シンボルの大きいちようが今年もたくさんのがんばりました。板橋第一小学校は、創立百三十六年目を迎えた区内では最も歴史と伝統のある学校です。しかし、耐震基準と老朽化により二十二年度より全面改築が始まりました。改築に当たり、現状を踏まえ地域やPTA、教職員の意見を参考に、大きいちようを残し現在の校舎のある位置

に新校舎を建築することになりました。位置は同じですが、施設設備や外観は未来を先取りする先進的な内容となるよう計画しています。三階建ての校舎は、各学年とも教室に隣接した広いオープンスペースを確保し、クラスや学年を分割して、少人数での学習や活動が十分できるよう計画しています。

また、板橋区教育ビジョンを反映し、図書館を学校の中心と

した配置で読書活動の推進を行っています。そして体育館を2階にし、1階にはゆとりを持つた地域開放室や、あいキッズのスペースを確保します。特に多目的スペースには、大階段が設けられ、発表の場・集会の場として活用できます。またここは四季ごとに変わる大きいちようの姿を眺められる憩いの空間になります。このような恵まれた施設

を活用し「地域と共に歩む板橋第一小学校」を実現していくま

生生活になりますが、学校給食は今までと同等の給食を提供し、狭い校舎でも体力が低下せぬよう、全教師が児童の「体力つくり」「オープンスペースを活用した授業」の課題に取り組みます。

PTA活動では、毎年恒例の「板まつり」を行っています。お餅つきを中心として、豚汁・焼き芋・ポップコーン・ゲームコーナー、OB会による昔遊び等、先生方もお手伝いに参加くださり盛大に行われています。

今年度は、改築に伴い規模を縮小して「夏まつり」として行いました。改築の間は形や規模は変わりますが、子ども達の喜ぶイベントや活動が行えるよう工夫していきたいと思っています。

また、防犯対策として校内行事の際には保護者巡回パトロールを行い、校外においては地域の方々と協力し、安全と地域の安全に努めています。

板一小のシンボルである「大きいちよう」の木に本校の歴史をなぞらえ作られた、百二十周年を祝う歌「ずっと、ずっと前か



板一夏まつり

ら」にも
♪三階建ての 校舎の窓よりも
今まで広がる いちようの木よ
：中略

桜のように 君は 華やかでは
ないけれど
卒業生たちの背中見守りなが

♪誰にも言わず ひつそり
また 芽吹いているのです
いちようの木は見ていた

焼き芋・ポップコーン・ゲーム
コーナー、OB会による昔遊び
等、先生方もお手伝いに参加
くださり盛大に行われています。

今年度は、改築に伴い規模を
縮小して「夏まつり」として行
いました。改築の間は形や規模
は変わりますが、子ども達の喜
ぶイベントや活動が行えるよう
に工夫していきたいと思ってい
ます。

また、防犯対策として校内行
事の際には保護者巡回パトロー
ルを行い、校外においては地域
の方々と協力し、安全と地域の安全に努めています。

板一小のシンボルである「大
いちよう」の木に本校の歴史を
なぞらえ作られた、百二十周年
を祝う歌「ずっと、ずっと前か



板橋第一小学校



板橋第二小学校は、大正十三年九月、中山道と環状六号線に囲まれた高台に誕生し、本年で創立八十六年を迎えました。当時、学校の周りは雑木林や麦畑があり、その面影は今も残っています。

現在、生徒数は百五十六名、学級数六学級ならびに特別支援学級の児童数二十三名、学級数三学級という小規模校です。生徒や先生方が全員の名前を覚え、知らない子はないといふ。学校全体が家族のような関わり方ができるという特徴があります。縦割り班活動や縦割り会食はその最たる活動の一つです。異年齢集団での活動を通して、各人がその年齢に応じた役割や協力合うことの大切さを学んでいます。

代表的な例としては、運動会の「ソーラン節」があります。

これは代々、六年生から五年生に引き継がれている伝統的な演技です。総合の時間に藍染名人から教わって作ったお揃いのTシャツを身にまとい、六年生から五年生に語り継がれ演じている姿は、みんなの気持ちが一つになつた瞬間でした。これは、一長一短でできるものではなく、日々の人間関係の賜物といえるでしょう。

また、板二小のもう一つの特徴的な活動として、「持久走大会」が毎年十二月に行われます。これは、子どもたちの体力の向上及び心身の健康を目指し、実施しているものです。地域の方々の協力もあり、安全・安心のもと、子ども達は元気いっぱい走っています。

板二小の教育目標は、「自分ですることも」、「思いやりのある子ども」、「じょうぶな子ども」です。この目標こそ、「板二小少ない分、自分のことは自分でやる」といふことです。この目標こそ、「板二小少ない分、自分のことは自分でやる」といふことです。この目標こそ、「板二小少ない分、自分のことは自分でやる」といふことです。





板橋第四小学校



板橋第四小学校は、昭和三年四月一日に開校しました。平成二十年に創立八十周年を迎えました。

本校は、区役所・郵便局・警察署・消防署・三つの駅（JR板橋駅・東武東上線下板橋駅・都営三田線新板橋駅）商店街などが至近距離にあり、社会科、総合学習などの学習環境に恵まれています。

教育目標は、「考える子どもも、ねばり強い子ども、心ゆた

かな子ども」の三つで、この目標に向かって学校、保護者、地域が一体となって子ども達を見守っています。保護者、地域の方々に本校出身者が多く、学校に協力的で、総合的な学習の時問や、さまざまな行事などで力を貸して頂いています。

また、PTA活動もとても活発で「板四まつり」や「もちつき大会・豚汁作り」や「寺小屋」などは大いに盛り上がります。

本校の一番の特色は、区内で唯一標準服（PTA推奨服）があり、各行事や、社会科見学などの際に着用しています。環境委員の協力により、標準服のリサイクルも行われております。

着用する事により、板四小の児童であるという誇りと連帯感がうまれます。

板四小は、児童数が三百二十九名と少なめですが、学校はいつも元気な子ども達のパワーであふれています。

本校では、今年七月より校舎の耐震・大規模改修工事が始ま

りました。一部の児童は、校庭内に新設された仮設校舎で学んでいます。子ども達の安全確保の為、校庭がせまくなり不自由な面もありますが、子ども達は元気に過ごしています。

校舎の完成予定は平成二十四年度となっております。

その他、スクールガード、防

犯対策などにも保護者、学校一體となつて子ども達の安全に気をつけています。主な活動は、保護者が交代で子ども達の下校に付き添い通学路の安全確認や、不審者から子どもを守り、

地域の人達が板四小の児童に目を配つてもらえるように保護者と一体となつて協力できる環境を作りをしています。

本校では玄関前の門扉を新設

し、来校者のチェックと東門の管理を徹底します。また校長室と職員室には警視庁に直接つながるホットラインがあり、緊急時には、警察がスムーズに対応できるようになっています。

子ども達を狙う犯罪が身近に感じられる昨今、子どもたちが一人一人とつても生き生きと素敵な活躍を見せてくれています。



創立 80 周年記念

ものです。

最後にまだまだ板四小の魅力の一部だけですが、縦割りによるスマイル班活動を行っています。六年・一年ペア、五年・三年ペア、四年・二年ペアでの各行事での思い出のお手紙交換や、「板四フェスタ」という子ども達によるちいさな文化祭を他学年との交流での遊びも板四小ならではの活動の一環として、大事に見守っています。

「板四フェスタ」では、お化け屋敷や、お店やさん、迷路作りや色々な出し物を考え、スタッフとして自分たちの役割をこなしたり子どもたちが一人一人とつても生き生きと素敵な活躍を見せてくれています。



金沢小学校



金沢小のシンボル メタセコイアの木

金沢小学校は二千本、八十種類の木々からなる「学校の森」「芝生」「果樹園」「緑のカーテン」「ビオトープ」といった自然環境と、学区地域のさまざまな施設や人々とのふれあいを大切にした環境教育に十年以上取り組んでいます。各学年はそれぞれ学年の木を二本ずつ決め、四季を通じさまざまな自然を楽しみながら学習

に取り組んでいます。また、自分で育てた朝顔やサツマイモの蔓を使って作るリース、梅ジャムやキウイジャム作りなど、単に植物を育てるだけではなく育てた後どのようにするかという取り組みも行ってまいりました。そして全校児童と保護者で、校内の落ち葉などを堆肥にするといった、「命の循環」という所まで推し進めております。また、グリーンキーパーズの方々が月に一回、学校の森や芝生を守り、育てるために活動をしてくださっています。

その他、地域の保育園・幼稚園児と一年生のふれあい、地域のお年寄りとのふれあい、そして六年生と一年生の年間を通じたふれあいなど、相手を思いやる心を育てることに取り組んでいます。

PTAや地域も金沢小の取り組みを支援できるよう積極的に活動しております。PTAが主催する「もちつき大会」をはじめ

に取り組んでいます。また、自分で育てた朝顔やサツマイモの蔓を使って作るリース、梅ジャムやキウイジャム作りなど、単に植物を育てるだけではなく育てた後どのようにするかという取り組みも行ってまいりました。そして全校児童と保護者で、校内の落ち葉などを堆肥にするといった、「命の循環」という所まで推し進めております。また、グリーンキーパーズの方々が月に一回、学校の森や芝生を守り、育てるために活動をしてくださっています。

その他、地域の保育園・幼稚園児と一年生のふれあい、地域のお年寄りとのふれあい、そして六年生と一年生の年間を通じたふれあいなど、相手を思いやる心を育てることに取り組んでいます。

昨今児童を取り巻く社会的環境は危険の多いものになつております。また、台風・地震など、自然災害時の取り組みもますます重要度が上がっております。

金沢小では、通学班による登校だけでなく、災害時のための引き取り訓練、通学班の担当の先生による一斉下校指導など、先生による一斉下校指導など、日頃から登下校時の安全教育を行なうだけでなく、自転車教室の実行を行い、講師を呼んでのセーフティ教室の際には不審者侵入の避難訓練もあわせて行なうな

め、毎月開催される「金沢ぐらぶ」では英会話・パソコン教室・スポーツ教室から将棋・囲碁まで、多彩な学習が親子で楽しめます。

また、夏休みには学校内の宿泊もあるキャンプファイヤー、冬休みにはお父さん達が合唱もするクリスマスイベントなど、金沢小のおやじ達が参加する「おやじの会」の活動もさかんです。

他にも「読み聞かせボランティア」など、いろいろな形での活動を通じ、金沢小に通う子ども達が健やかに育つ環境作りをお手伝いしています。

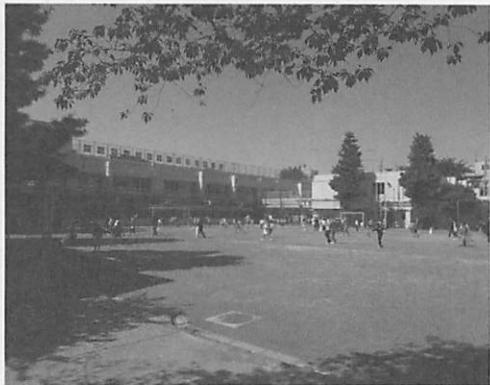
金沢小では、通学班による登校だけでなく、災害時のための引き取り訓練、通学班の担当の先生による一斉下校指導など、日頃から登下校時の安全教育を行なうだけでなく、自転車教室の実行を行い、講師を呼んでのセーフティ教室の際には不審者侵入の避難訓練もあわせて行なうな



恒例のもちつき大会



加賀小学校



(学校概要)

本校は、平成十四年四月に旧板橋第三小学校と旧稻荷台小学校が統合し、旧稻荷台小学校の場所に新たに加賀小学校として開校しました。本年度で開校9年目を迎え、約四百名の児童が「きらきら」かがやく加賀の子どもとの合言葉のもとに、毎日明るくのびのび勉強や運動に励んでいます。学校は環七と中仙道が通る大和町交差点近く

(教育活動)
教育活動においては「なかよくする子」進んで学ぶ子たくましい子」の教育目標を達成する為に、特別支援学級を含めた縦割り班活動や、算数科の少人数指導、保護者による読み聞かせ、地域の方々を招いての団子作りや盆踊り指導など様々な工夫がなされています。学校運営に関しても運営連絡協議会と地域連携委員会が設けられており、近隣の中学校・幼稚園や地域の方々の意見を幅広く伺い

(PTA活動)
PTA活動は二校の統合後も、各学校のPTA関係者のご協力もあり、伝統を受け継いで活発に行われています。旧板三小の伝統行事の「餅つき集会」は毎年師走に「餅つきと昔遊び」として、総勢300名余りの参加者によつて行われています。また、旧稻小の「秋のふれあいまつり」は昨年度より六月に「ふれあい



ふれあい広場

に位置していて、江戸時代には、近隣に加賀藩の下屋敷があつた事もあり、現在も学校周辺には加賀藩にちなんだ地名が多く見受けられます。本校校章にも加賀藩の家紋である白梅を背景に、近くを流れる石神井川の流れから平和の鳥が飛び立つ姿が描かれています。二階建ての校舎は開校と共に一部改装され、各教室前のフローリングのワーフェースは、学級・学年の活動など多目的に使用されています。

(あいキッズ)

本年度から区の新しい放課後対策事業である「あいキッズ」

が本校でも実施されるようになります。これに伴い、マルチルームに冷暖房設備が設置され、放課後に加えて長期休暇中も児童が快適に・文化・スポーツ・遊びの体験活動が出来るようになりました。10月からは従来のあいキッズスタッフに加えて、地域のサボーラー講師によるサッカー・工作教室も始まり、内容の充実が図られています。

広場」として、模擬店やバザーゲームを中心にして開催されるようになりました。休日には学校開放協力会による料理・工作教室・漢検の実施などの活動や、地域の方々による野球、バレー、スポーツクラブの活動があり、児童が集団生活を通じて社会規範や体力を身につける機会が多く設けられています。

平常の活動としましては、PTA活動の公平性の観点から、役員の他にも委員と係の仕事をとなつて登校班編成をし、教職員と協力して学校周辺のパトロールを定期的に行い、日々児童の安全に配慮した活動を心がけています。今後も学校と地域の皆様と緊密に連携して、本校生徒がより安全で豊かな小学校生活が送れるように活動していきたいと思つております。



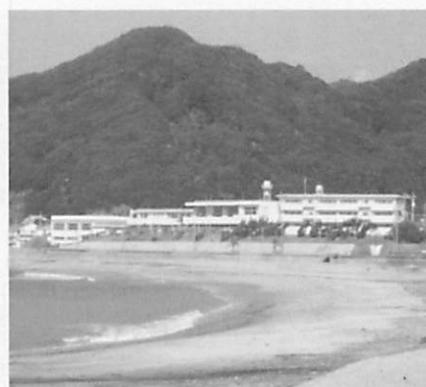
天津わかしお学校

天津わかしお学校

学習の時間・特別活動などの教育課程はほとんど同じです。

健康回復のための「自立活動」として「運動の時間」「心理的な

世話や指導をする寄宿舎指導員や看護師など、区内の小学校にはいない職員もいます。寄宿舎指導員一名と舍監（男性教員）一名が泊まり勤務をしています。



生活時程表

起	床	6 : 30
檢	溫	6 : 30 ~ 6 : 40
洗面・健	康観察	6 : 40 ~ 6 : 55
自立活	動	6 : 55 ~ 7 : 10
清掃		7 : 10 ~ 7 : 30
朝食・歯みがき		7 : 40 ~ 8 : 00
治療・自由時間		8 : 00 ~ 8 : 20
朝会・集会・自習		8 : 30 ~ 8 : 45
第1校時		8 : 50 ~ 9 : 35
第2校時		9 : 40 ~ 10 : 25
中休み		10 : 25 ~ 10 : 40
第3校時		10 : 45 ~ 11 : 30
第4校時		11 : 35 ~ 12 : 20
昼食・歯みがき		12 : 25 ~ 12 : 55
昼休み		12 : 55 ~ 1 : 20
清掃		1 : 20 ~ 1 : 40
第5校時		1 : 45 ~ 2 : 30
第6校時		2 : 35 ~ 3 : 20
学級指導		3 : 20 ~ 3 : 35
最終下校		3 : 50
おやつ・歯みがき		4 : 00 ~ 4 : 15
自由時間		4 : 15 ~ 5 : 20
整理		5 : 30 ~ 5 : 50
夕食		5 : 55 ~ 6 : 20
後片付け・歯みがき		6 : 20 ~ 6 : 30
自習時間		6 : 30 ~ 7 : 00
検温・入浴・自由時間		7 : 00 ~ 8 : 00
消灯準備・日記・終礼		8 : 00 ~ 8 : 30
消灯		8 : 30

(三) 学校の概要

橋本区立天津わかしお学校は千葉県鴨川市の外房の海のすぐそばに位置しています。いつでも窓を開けると波の音が聞こえてきます。廊下には時々カニの兄弟が歩いていることもあります。

神奈川県の大磯の地に「大磯学園」として開校しました。昭和四十七年七月には、大磯から現在の場所に移転し、校名を「天津養護学校」に改めました。そして、特別支援体制が整備された中、平成十八年四月に再び校

区内の小 用いて、各

現在、児童数は、小学校三学年三名、四学年十名、五学年十二名、六学年十二名、総数三十六名です。病類別では、喘息九名、肥満十名、偏食・虚弱十七名です。

現在、児童数は、小学校三学年三名、四学年十名、五学年十二名、六学年十二名、総数三十六名です。病類別では、喘息九名、肥満十名、偏食・虚弱十七名です。

親代わり

温暖で豊かな自然環境に恵まれた千葉県鴨川市天津に設置され、家族と離れて寄宿舎で生活をしています。

【寄宿舎】
「学級」〇名以下の学級編成なので、一人一人の子どもの実態や課題に応じた個別学習が可能で、学習の基礎基本を重視し、確かな学力の向上を目指しています。

【少人数指導】
「よしタイム」「健康課題」との知識理解の時間（天津つ子の時間）などが設定されています。



「玉津最大の夏のイベント」もえる～キャンプファイヤー

長期休業日のほか、約2ヶ月に回ベースで、子どもたちは板橋区内の家庭に戻り、生活をします。その際、希望者は前籍校へ行つて、授業を受けることができます。

前籍校訪問

小P連OB会報告



「人間を結びつけるPTA活動を」

OB会会長 中尾秀隆

本年度も会員の方々の物心両面に亘る御協力により、主だったもので左記の小P連活動に側面からの支援ができました。

広報誌コンクール、バレー・ボーラ大会、親子ふれあいデー、PTA研究大会への協賛。

大変ありがとうございました。

最近、高齢者の所在不明、親による子の虐待・遺棄、児童の自殺、児童を目的とした教師の性的事件等悲惨なことを耳にします。これらに共通した課題の一つに「人間の孤立化」即ち

高齢者の社会的孤立、家庭の地域コミュニティからの孤立、家庭・学校内の児童・教師の孤立があるように思います。孤立化の原因はラジオスタイルの変化、生活のIT化、経済格差の拡大など種々のことが考えられます。いずれにしても人と係りたくない、或は係ることができない状態が生活の中で噴出していると見ることができます。

PTAの活動もこの視点から見ると人々に開かれた機会を提供しあわせに支えあう大事な存在であります。皆様のより積極的な参加をお願いするものです。

板橋区立小学校PTA連合会OB会規約

第一条 本会は板橋区立小学校PTA連合会OB会と称し、事務所をOB会長宅におく。

目 的

第二条 一、本会は板橋区立小学校PTA連合会活動を側面から支援すると共に、板橋区の教育と文化を高め、かつ青少年の健全育成に寄与する。

二、会員の親睦をはかると共に、他の団体と協力して社会教育と、文化活動を行うも、政治・宗教に関与しない。

会 員

第三条 本会の会員は板橋区小P連の各単位PTA会長経験者とする。

第四条 一、第二条の目的を達成するための事業を行う。

二、毎年一回総会を行い、併せて新会員の歓迎会も行う。

東京都板橋区立小学校 PTA連合会規則

第一章 名 称

第一条 本会は東京都板橋区立小学校PTA連合会と称する。

と称する。

第二章 組 織

第二条 本会は東京都板橋区立小学校PTAをもつて組織する。

事務所を連合会会长校に置く。

第三章 目 的

本会は単位PTA相互の緊密な連携のもとで組織する。

事務所を連合会会长校に置く。

本会は教育を本旨とする単位PTAの連合会として、次の方針に従つて活動する。

第四章 活 動

本会は「単位PTA

が前条の目的を達成するためには、次の活動を行なう」が、その際、研修、調査研究、広報の発行、PTA相互間の情報交換に関する事項などを実施して単位PTAに役立つ活動をする。

一、よい保護者、よい教員となるよう努

第五章 経 理

本会の経理は分担金

及びその他の収入で支

められる。

月三十一日に終る。

第六章 組 織

本会の役員の職務は

次の通りとする。

一、会長は会務を総理

する。

二、会長は会務を総理

する。

三、会長は会務を総理

する。

第七章 役 員

会長 一名

副会長 四名

(内一名は学校長)

書記 二名

会計 二名

承認

定期総会において審議し決定する。

第八章 役員の職務

本会の役員は次の方

法により総会において承認する。

一、会長及び副会長は

会長会で単位PTAの会長の中から互選によ

る。

二、書記及び会計は会

長が単位PTAの会長の中から委嘱する。

第九章 運営機構

会長会

二、会長会

総会は最高の議決機

関とする。

一、総会は定期総会と

臨時総会の二種と

し、定期総会は毎年五月に開催する。

第十一条 会員の役員の職務

本会の役員は次の方

法により総会において承認する。

一、会員は会員の

三分の二以上の要

求があつた時、ま

たは、会長会が必

要と認めた時、開催することができ

第十二条 会員の役員の職務

会員の役員は次の方

法により総会において承認する。

一、会員は会員の

三分の二以上の要

求があつた時、ま

たは、会長会が必

要と認めた時、開催することができ

第十三条 会員の役員の職務

会員の役員は次の方

法により総会において承認する。

一、会員は会員の

三分の二以上の要

求があつた時、ま

たは、会長会が必

要と認めた時、開催することができ

第十四条 会員の役員の職務

会員の役員は次の方

法により総会において承認する。

一、会員は会員の

三分の二以上の要

求があつた時、ま

たは、会長会が必

要と認めた時、開催することができ

第十五条 会員の役員の職務

会員の役員は次の方

法により総会において承認する。

一、会員は会員の

三分の二以上の要

求があつた時、ま

たは、会長会が必

要と認めた時、開催することができ

第十六条 会員の役員の職務

会員の役員は次の方

法により総会において承認する。

一、会員は会員の

三分の二以上の要

求があつた時、ま

たは、会長会が必

要と認めた時、開催することができ

第十七条 会員の役員の職務

会員の役員は次の方

法により総会において承認する。

一、会員は会員の

三分の二以上の要

求があつた時、ま

たは、会長会が必

要と認めた時、開催することができ

第十八条 会員の役員の職務

会員の役員は次の方

法により総会において承認する。

一、会員は会員の

三分の二以上の要

求があつた時、ま

たは、会長会が必

要と認めた時、開催することができ

第十九条 会員の役員の職務

会員の役員は次の方

法により総会において承認する。

一、会員は会員の

三分の二以上の要

求があつた時、ま

たは、会長会が必

要と認めた時、開催することができ

第二十条 会員の役員の職務

会員の役員は次の方

法により総会において承認する。

一、会員は会員の

三分の二以上の要

求があつた時、ま

たは、会長会が必

要と認めた時、開催することができ

第二十一条 会員の役員の職務

会員の役員は次の方

法により総会において承認する。

一、会員は会員の

三分の二以上の要

求があつた時、ま

たは、会長会が必

要と認めた時、開催することができ

第二十二条 会員の役員の職務

会員の役員は次の方

法により総会において承認する。

一、会員は会員の

三分の二以上の要

求があつた時、ま

たは、会長会が必

要と認めた時、開催することができ

第二十三条 会員の役員の職務

会員の役員は次の方

法により総会において承認する。

一、会員は会員の

三分の二以上の要

求があつた時、ま

たは、会長会が必

要と認めた時、開催することができ

第二十四条 会員の役員の職務

会員の役員は次の方

法により総会において承認する。

一、会員は会員の

三分の二以上の要

求があつた時、ま

たは、会長会が必

要と認めた時、開催することができ

第二十五条 会員の役員の職務

会員の役員は次の方

法により総会において承認する。

一、会員は会員の

三分の二以上の要

求があつた時、ま

たは、会長会が必

要と認めた時、開催することができ

第二十六条 会員の役員の職務

会員の役員は次の方

法により総会において承認する。

一、会員は会員の

三分の二以上の要

求があつた時、ま

たは、会長会が必

要と認めた時、開催することができ

第二十七条 会員の役員の職務

会員の役員は次の方

法により総会において承認する。

一、会員は会員の

三分の二以上の要

求があつた時、ま

たは、会長会が必

要と認めた時、開催することができ

第二十八条 会員の役員の職務

会員の役員は次の方

法により総会において承認する。

一、会員は会員の

三分の二以上の要

求があつた時、ま

たは、会長会が必

要と認めた時、開催することができ

第九条 地区会は地区長が必要と認めた時、または構成員の要求があった時開催する。(以上)

内規

本会の運営のため左記の通り弔意規定を設ける。

- 一、本連合会を構成する単位会長が死亡した場合は、一万円をもつて弔意を表する。
- 二、単位会会长の父母、配偶者及び子のうち板橋区小学校に在籍する児童が死亡した場合は、五千円をもつて弔意を表する。
- 三、単位会会长の同一生計を営む配偶者の父母が死亡した場合は、三千円をもつて弔意を表する。
- 四、その他については、役員会の協議により相応の弔意を表する。
- 五、本会内規は会長会の議決承認によつて発効する。
- 六、本会の規定は平成八年二月一日より実施し、規定の改廃は会長会の議決によるものとする。

平成八年二月一日 施行
平成十三年五月二十四日改正
平成二十一年九月十日改正



PTA連合会役員名簿

○会長	小笠原 隆浩(志村第四小)	○副会長	菊地 淳次(大山小)	○上板橋地区長	浅川英治(上板橋小)	○板橋A地区長・広報委員会委員長	平澤信彦(加賀小)	
○書記	新田 美弓(志村第二小)	○教育問題対策委員会委員長	秦 智彦(下赤塚小)	○会計	後藤 和彦(志村第三小)	○厚生委員会委員長	佐藤 尚浩(板橋第七小)	
○会計監査	森 伊部 武司(高島第三小校長)	(副会長兼任)	後藤 和彦(志村第二小)	○顧問	田 中正勝(板橋第六小)	(副会長兼任)	○P一一〇番委員会委員長	新田 英二(桜川小)
○校長会(小P連担当)	内田 東重雄(北野小)	(副会長兼任)	菊地 淳次(大山小)	○会計監査	田 淳子(富士見小)	(副会長兼任)	○板橋B地区長	高島第六小
○顧問	高野 礼子(緑小)	(副会長兼任)	新田 英二(桜川小)	○会計監査	高野 礼子(緑小)	(副会長兼任)	○P一一〇番委員会委員長	高島第六小
○校長会(小P連担当)	関口 浩一(弥生小)	(副会長兼任)	菊地 淳次(大山小)	○顧問	高野 礼子(緑小)	(副会長兼任)	○P一一〇番委員会委員長	高島第六小
○志村A地区長	安藤 高志(高島第六小)	(副会長兼任)	新田 英二(桜川小)	○会計監査	高野 礼子(緑小)	(副会長兼任)	○P一一〇番委員会委員長	高島第六小
○志村B地区長	中里 文丈(板橋第五小)	(副会長兼任)	菊地 淳次(大山小)	○顧問	高島第六小	(副会長兼任)	○P一一〇番委員会委員長	高島第六小
○志村A地区長	財津 宏(北前野小)	(副会長兼任)	新田 英二(桜川小)	○会計監査	高島第六小	(副会長兼任)	○P一一〇番委員会委員長	高島第六小
○志村B地区長	和田 徹(志村坂下小)	(副会長兼任)	菊地 淳次(大山小)	○顧問	高島第六小	(副会長兼任)	○P一一〇番委員会委員長	高島第六小



編集後記

広報委員長

平澤 信彦

板橋A地区から選出された広報委員の皆様、大変お疲れ様でした。

一年を通じ和やかな雰囲気で委員会の活動が出来ましたことを感謝しております。何かの「縁」で始まり、このような素敵な広報誌が完成し『恩』で終えることを本当に嬉しく思います。

最後に、本誌を発刊するにあたり、ご協力を頂きました関係者の皆様方に厚くお礼申し上げます。

編集委員長

三宅 泰子



板橋第二小学校

「小P連」広報誌の

編集に携わり、大変

貴重な経験をさせて

いただきました。

各校のみなさまと

の交流を通じて、子

どもたちが楽しく学

校生活を送ることが

できるよう、心くばりをしてい

ることを感じました。

幹事校の加賀小をはじめ、広報委員のみなさ

まありがとうございました。

黒田 丸山 古川

水野 江口 曽根原

板橋第四小学校

「小P連」の広報誌編集に参加

させていただきました。初めての

ことで不安もありましたが、他校

の方々との交流も持て、貴

板橋第一小学校

六年に一度の「小

P連」の広報誌編集

でした。板Aは学校

数が一番少ない地区

ですが、加賀小役員

の皆様の終始適切な

リーダーシップのお

かげで、広報誌製作

に安心して携わることができまし

た。とても良い経験ができ、各校

委員の皆様にも感謝いたします。

ありがとうございました。

川中子 石田

金沢小学校

今号で特集1を担

当させていただきま

した。アンケート調

査の結果から各校の

特色ある活動に感心

いたしました。今後

の我が校への活動に

も提案できたらと思

いました。

改めて、区内小学校PTAの皆

さま方に感謝を申し上げます。ど

うもありがとうございました。

高田 友金

天津わかしお学校

今回あまつは特集

2の担当で広報誌を作成する事の大変さ

を感じました。

あまつでは、広報

誌を出す事がなく戸

惑いもありました。

ほとんどが加賀小の

方にお世話をなりました。ありがとうございました。

重な経験になりました。

とうございました。
小松田 東堤 吉岡

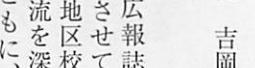
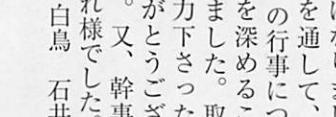
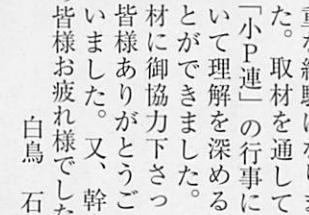
加賀小学校

「小P連」広報誌の編集に参加させて頂き、板橋A地区校の皆様方と交流を深められたとともに、協力しあいながらとても楽しく作業をする事ができました。

また小P連行事の理解を深められる良い機会になりました。

お忙しい中、各校の皆様ご協力ありがとうございました。

入江 児島 稲本

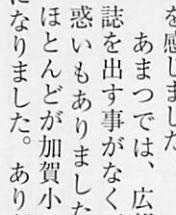


お忙しい中、原稿を執筆して下さった皆様をはじめ、御協力いただいたすべての方に心より御礼申上げます。有難うございました。

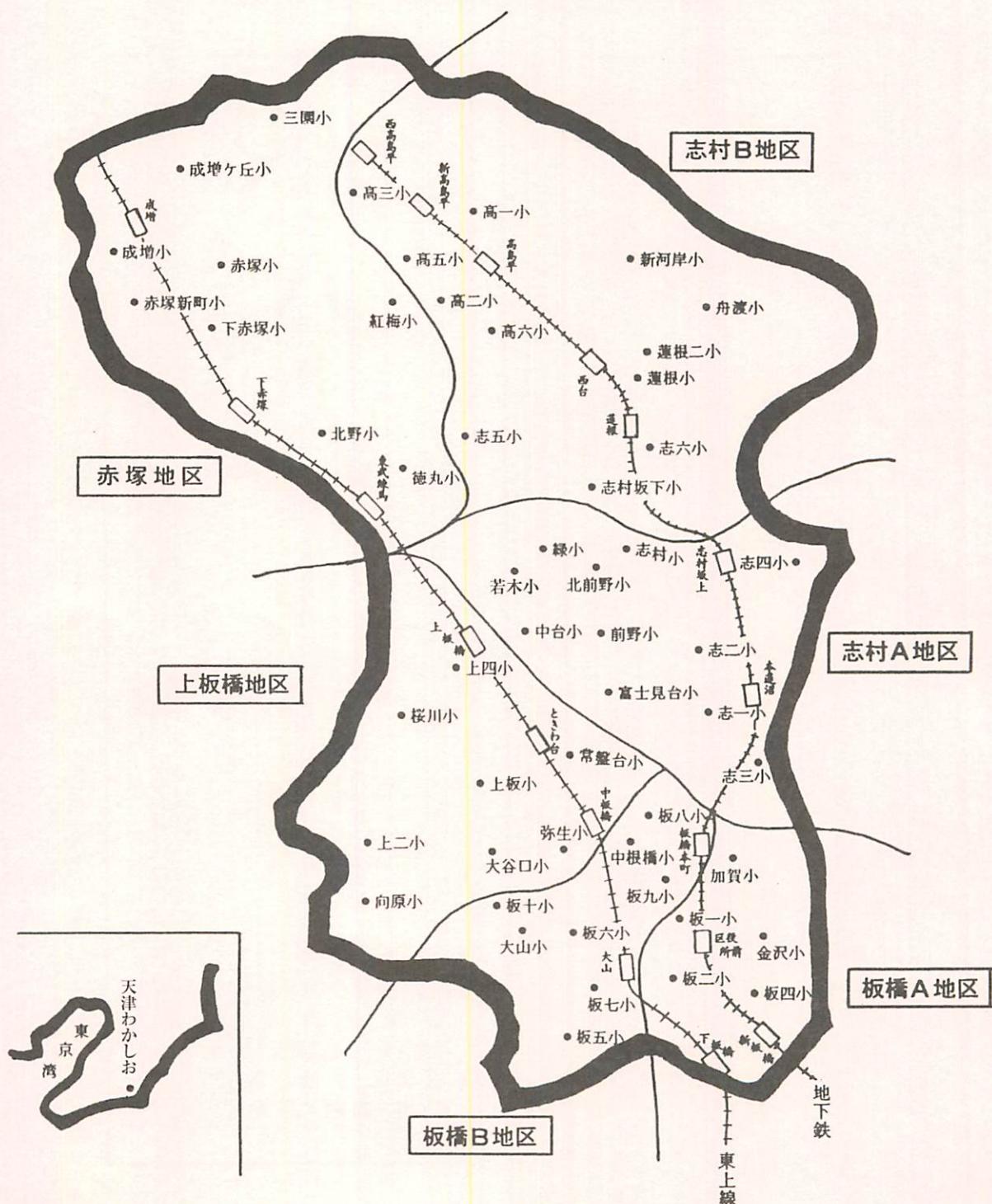
板橋A地区から選出された広報委員の皆様、大変お疲れ様でした。

一年を通じ和やかな雰囲気で委員会の活動が出来ましたことを感謝しております。何かの「縁」で始まり、このような素敵な広報誌が完成し『恩』で終えることを本当に嬉しく思います。

最後に、本誌を発刊するにあたり、ご協力を頂きました関係者の皆様方に厚くお礼申し上げます。



板橋区立小学校分布図



小P連広報誌

平成23年3月31日発行 発行/板橋区立小学校PTA連合会

編集/板橋A地区

ピーポ110番

誘拐・ちかん・つきまといに 注意

不審者を見かけたら二〇番

板橋区立小中学校PTA連合会
板橋区町会連合会
板橋区青少年健全育成地区委員会連合会
板橋区・板橋区教育委員会
板橋・志村・高島平警察署
板橋・志村・高島平防犯協会

ピーポ110番

**子どもを守るために
ただいま**

パトロール実施中

板橋区立小中学校PTA連合会
板橋区町会連合会
板橋区青少年健全育成地区委員会連合会
板橋区・板橋区教育委員会
板橋・志村・高島平警察署